

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地													
専門学校 北九州自動車大学校		昭和51年6月8日		籠谷 正則		〒802-0814 北九州市小倉南区蟻田若園1丁目2番24号 (電話) 093-962-6673													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地													
学校法人ぜんりょう学園		昭和34年4月6日		中村 文彦		〒802-0814 北九州市小倉南区蟻田若園1丁目2番24号 (電話) 093-962-6673													
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士														
工業	工業専門課程	二級自動車整備科 二輪自動車整備士コース		平成21年2月27日 変更告示第22号	—														
学科の目的	二輪自動車(オートバイ)の構造、整備、故障探究等を理解し、オートバイが安全に走行するよう点検・修理・整備を行うことができる二級二輪自動車整備士を養成する。また、ガソリンを燃料とする自動車全般の構造等を理解した二級ガソリン自動車整備士を養成する。																		
認定年月日	平成26年3月31日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
2年	昼間	1902.4時間	686.4時間		1216時間														
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数														
50人	8人	0人	15人	5人	20人														
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験による点数と平常点を合算し100点を満点とする整数によって表す														
長期休み	■学年始:4月1日～4月10日 ■夏季:7月26日～8月30日 ■冬季:12月23日～1月9日 ■学年末:3月25日～3月31日		卒業・進級条件		当該科目のすべての授業に出席し、学期末の評点が60点以上であること														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 無断欠席が発生した場合、直ちに学生本人及び保護者との連絡を密にすることで欠席理由及びその解決策を講じる。		課外活動		■課外活動の種類 校友会、学園祭実行委員会、ラジコン同好会  ■サークル活動: 無														
就職等の状況	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) オートバイ販売会社、オートバイ用品店 ■就職指導内容 進路担当教員と担任教員が学生一人ひとりにあった進路指導を入学直後から実施。 ■卒業者数 : 4人 ■就職希望者数 : 4人 ■就職者数 : 4人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 なし (平成30年度卒業者に関する令和1年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二級ガソリン自動車整備士</td> <td>②</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>三級二輪自動車整備士</td> <td>②</td> <td>4名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	二級ガソリン自動車整備士	②	4名	4名	三級二輪自動車整備士	②	4名	3名
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
二級ガソリン自動車整備士	②	4名	4名																
三級二輪自動車整備士	②	4名	3名																
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成30年4月1日時点において 平成31年3月31日時点において		■中退率 0 % 在学者 8名 在学者 8名		(平成30年4月1日入学者を含む) (平成31年3月31日卒業生を含む)														
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度…学業・人物ともに優秀な学生を支援する制度で、特待生試験の結果が優秀であった合格者に適用 グループ校奨学金制度…受験生本人、もしくは2親等以内の親族が本校・グループ校の卒業生もしくは在学者である場合に適用 女子奨学金制度…将来、自動車整備士として活躍する女子入学生を支援する制度で、女子入学者全員に適用。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 平成30年度 該当者1名																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																		
当該学科のホームページURL	https://www.kamc.ac.jp																		

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校のカリキュラムに関して、二輪自動車整備士として必要な実践的かつ専門的な能力を育成するべく構成されるよう、その内容を検討し、職業教育水準の向上を図る事を目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員会で検討された内容は、開催された会議ごとに意見を取りまとめた上、学内で共有し、カリキュラムの改善に活用することとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
籠谷 正則	専門学校 北九州自動車大学校 校長	2019.4.1～2020.3.31	
清末 裕貴	専門学校 北九州自動車大学校 副校長	2019.4.1～2020.3.31	
本田 晴彦	専門学校 北九州自動車大学校 学務部長	2019.4.1～2020.3.31	
中村 仁	専門学校 北九州自動車大学校 事務局長	2019.4.1～2020.3.31	
梶島 大希	一般社団法人 福岡県自動車整備振興会 北九州事務所 所長	2019.4.1～2020.3.31	①
守本 範弘	ネットヨタ北九州株式会社 技術・教育課 課長	2019.4.1～2020.3.31	③
奥野 幸一	北九州ダイハツ販売株式会社 サービス部 次長	2019.4.1～2020.3.31	③
村岡 秀紀	北九州ダイハツ販売株式会社 総務部 課長	2019.4.1～2020.3.31	③
池内 修一	株式会社オートブラザウチ 代表取締役	2019.4.1～2020.3.31	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

毎年度年2回を目途に実施。実施時期は学期の区切りを目途に設定している。

(開催日時)

第1回 平成30年10月11日(木) 10:00～11:00

第2回 平成31年3月7日(木) 10:00～11:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

(委員からのご意見) 販社では仕事後自分の車を作業することはできないが、学校の放課後などを利用し実習場で二輪車整備を楽しめる環境があればよい。モチベーションの向上につながる。

(活用状況) 放課後などで作業時間や工具、廃棄物等に関するルールも取り決め、二輪家用車の持ち込みを許可。自身の車両の整備に携わることでモチベーションの向上につながっている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分にいかしつつ本校専門課程の専攻分野に関する職業に必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するため、企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習の授業を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業等と協定を結び、実習・演習等を実施。授業内容や方法及び学習成果の評価について企業等と連携を行う。学修成果の評価については、学生が修得した技能を含む実践的かつ専門的な能力について評価を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
社会教養学	全般的な基礎学力向上と応用力や判断力等を含めた総合的な能力を育成する。 (連携内容)就業現場まで学生を引率して出向き、現場の雰囲気を感じるとともに、エンジニアの仕事内容や社会人としての心構えを修得する。	(株)オートブラザウチ (株)レッドバロン ハーレーダビッドソン北九州 カワサキプラザ北九州
自動車整備作業 自動車検査	自動車を構成している部品の確認と分解・組立・点検・調整、日常点検、車検整備などを行い、整備作業・検査技術を修得する。 (連携内容)二輪車の測定技術について、就業現場で使用している測定機器を使用して実験を行う。また実際に使用している二輪車を定期点検整備、調整等を行うことにより、より実践的な二輪車整備技術を養う。	ADVANTAGE九州 (株)おんが自動車学校

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

企業等が計画的に実施する教育研修、実技研修、最新機器を用いた点検・整備方法などの研修を教員に受講させることにより、学生への教育的指導効果を向上させることを目的として研修規程を定め、自動車分野における実務について、自動車技術の進展に即した教育内容や指導方法を本校専門課程において実践できるよう、研修への積極的な参加を促す。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「工場研修」(連携企業等:オートプラザウチ、レッドバロン、ハーレーダビッドソン北九州、カワサキプラザ北九州)

期間:平成30年4月26日(木) 対象:教員2名

内容:二輪整備専用の高度測定機器、最新の二輪整備新技術について

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「JAMCA夏季教職員研修」(連携企業等:全国自動車大学校・整備専門学校協会)

期間:平成30年7月31日(月)～8月3日(木) 対象:教員1名

内容:若者気質の変遷、コーチング&コミュニケーション技法、問題解決手法を用いたグループ研修、ゆとり教育と基礎学力などについて

#### (3) 研修等の計画

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「工場研修」(連携企業等:オートプラザウチ、レッドバロン、ハーレーダビッドソン北九州、カワサキプラザ北九州)

期間:平成31年4月18日(木) 対象:教員2名

内容:二輪整備専用の高度測定機器、最新の二輪整備新技術について

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「JAMCA夏季教職員研修」(連携企業等:全国自動車大学校・整備専門学校協会)

期間:令和元年7月30日(火)～8月2日(金) 対象:教員1名

内容:若者気質の変遷、コーチング&コミュニケーション技法、問題解決手法を用いたグループ研修、ゆとり教育と基礎学力などについて

### 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1) 学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン(平成25年3月文部科学省策定)」を踏まえ、学校の教育活動その他の学校運営の状況について、学校自らが評価を行う「自己評価」はもとより、企業等の役員又は職員が学校関係者として評価に参画し、自己評価の結果を評価することを基本として行う「学校関係者評価」の実施及び公表を行うとともに、その評価結果を踏まえた教育活動その他の学校運営の改善に取り組む。

#### (2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育人人材像／職業教育の特色／将来構想／周知／業界のニーズ把握
(2) 学校運営	運営方針／事業計画／規則／規程整備／意思決定システム／コンプライアンス／情報公開 他
(3) 教育活動	教育編成・実施方針／時間の確保／カリキュラム編成／工夫・開発／産学連携 他
(4) 学修成果	就職率／資格取得率／退学率／社会的活躍・評価把握／キャリア形成効果把握・改善
(5) 学生支援	進路支援／学生相談／経済支援／健康管理／課外活動支援／生活環境支援／保護者連携 他
(6) 教育環境	施設・設備／学内外実習施設・インターンシップ・海外研修／防災体制整備
(7) 学生の受入れ募集	募集活動／教育成果の正確な伝達／学納金の妥当性
(8) 財務	中長期計画／予算・収支計画／会計監査／財務情報公開
(9) 法令等の遵守	設置基準遵守・適正運営／個人情報保護対策／自己評価実施・問題点改善／自己点検結果公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献／ボランティア活動／公開講座・教育訓練
(11) 国際交流	留学生受入・派遣／留学生在籍管理／留学生学修・生活指導／評価取組

※(10)及び(11)については任意記載。

#### (3) 学校関係者評価結果の活用状況

(委員からのご意見)職業教育について・・・コミュニケーション能力はとても重要な要素となる。人間関係で潰れてはもったいない。  
(活用状況)社会人基礎力の養成に努める。

(委員からのご意見)情報発信について・・・色々な媒体で積極的に情報を発信しているのは良い。  
(活用状況)更新頻度や発信媒体を拡大し、最新情報の発信拡大に努める。

(委員からのご意見)業務効率化について・・・教員がより教育に力を入れられるよう、今後も業務の効率化を進めていただきたい。  
(活用状況)今後とも現状に即したシステムの効率化を図る。

(委員からのご意見)インターンシップについて・・・二級生へのインターンシップ実施を期待する。  
(活用状況)二級生も実施できるよう積極的に企業へ受け入れ協力を依頼する。

(委員からのご意見)学生指導について・・・教員の知識と経験を、成功例・失敗例を問わず、一つでも多く伝えてほしい。  
(活用状況)今後は更なる人材育成のためにも積極的に取り組んでいきたい。

(委員からのご意見)離職について・・・離職低減のためにその企業の現場を見ることも大事。企業と学生双方にメリットがあるのでは。  
(活用状況)就職活動が本格化する前の長期休み等を利用して希望する会社には事前訪問するように指導。

(委員からのご意見)退学率低減について・・・自動車整備士の社会的地位や重要性の認知度について学校及び企業で学生たちに上手く伝えて、魅力ある業界となるよう尽力いただきたい。  
(活用状況)企業講習や就職活動等を通して自動車整備士の重要性について啓蒙を進めていくよう努める。

(委員からのご意見)出席管理システムについて・・・保護者がリアルタイムに登校を確認できるのは良いシステムだと思う。  
(活用状況)保護者の登録は任意としているが出来るだけ多くの方に登録してもらえよう周知に努める。

#### (4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
梶島 大希	一般社団法人福岡県自動車整備振興会 北九州事務所所長	2019.4.1～2020.3.31	企業等委員
金丸 孝弘	株式会社ジャパン三陽	2019.4.1～2020.3.31	企業等委員
成重 哲	株式会社スズキ自販福岡 小倉営業所所属	2019.4.1～2020.3.31	企業等委員
宮本 達也	株式会社グリーンライン保険サービス所属	2019.4.1～2020.3.31	企業等委員
穂枝 浩志	同窓会役員	2019.4.1～2020.3.31	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

#### (5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL <https://kamc.ac.jp/information>

公表時期: 令和元年7月1日

#### 5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

##### (1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者が本校専門課程全般について理解を深めるとともに、当該企業等の関係者との連携及び協力の推進に資するため、本校専門課程の教育活動や支援体制、財務状況等、学校運営状況に関する情報をホームページ上に提供する。

##### (2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要／教育方針
(2) 各学科等の教育	学科・コース概要／取得可能資格
(3) 教職員	教員名簿(職名、取得資格、主な担当科目)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	進路状況・実績／就職先企業／バックアップ体制
(5) 様々な教育活動・教育環境	特色／授業風景／施設
(6) 学生の生活支援	キャンパスライフ
(7) 学生納付金・修学支援	入学金／年間学費／諸経費／支払時期／公的奨学金制度／独自奨学金制度
(8) 学校の財務	資金収支計算書／事業活動収支計算書／貸借対照表／財産目録
(9) 学校評価	自己点検評価結果／学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	留学生受入
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

##### (3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL <https://kamc.ac.jp/information>

授業科目等の概要

(工業専門課程 二級自動車整備科二輪自動車整備士コース) 令和元年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			社会教養学	就職活動に向けた自動車業界の知識の習得・サービス業への理解・一般教養の習得 ビジネスマナーの習得・就職試験対策	1前	24	○				○	○	○	○	
○			体育・競技	競技やレクリエーションを通じて、競技技術及び体力の向上を目指す。また、学生及び教員間の親睦を深める。	1 2 通	14.4					○	○	○		
○			エンジン構造	ガソリンエンジンを構成する各装置・部品の構造・機能、及び、それらの装置の作動について講義する。	1前	24	○				○	○			
○			シャシ構造	二輪自動車のシャシ関連における各装置の部品名称、構造・機能、及びそれらの装置の作動について講義する。	1通	48	○				○	○			
○			電装構造	自動車に装着されている電装品の構造・機能及びそれらの装置の作動について講義する。	1通	72	○				○	○			
○			電子制御装置	半導体の特性・用途、回路の電気の流れ、ECU、センサ、アクチュエータについて講義する。	2後	24	○				○	○			
○			二輪車演習	ガソリンエンジンを構成する各装置・部品の構造・機能、及び、それらの装置の作動について講義する。	1後	24		○			○	○			
○			四輪車構造	四輪車に用いられる動力伝達装置、アクスル及びサスペンションを構成する各部品の構造・機能、及び、それらの装置の作動について講義する。	1 2 通前	72	○				○	○			
○			自動車の力学・数学	数学の基本的な内容の復習を含め、整備等を行う上で必要となる数学的要素について講義する。	1後	24	○				○	○			
○			電気・電子理論	導体、半導体及び不導体の性質について解説し、半導体素子の構造とその動作について講義する。	1後	24	○				○	○			
○			自動車材料	自動車材料の性質・用途について講義する。	1前	24	○				○	○			
○			燃料・潤滑油	自動車燃料・潤滑油の性質について講義する。	1前		○				○	○			
○			自動車基礎	機械製図の基礎知識について解説し、電気回路及びオームの法則等について講義する。	1前	24	○				○	○			
○			エンジン整備	ガソリンエンジンを構成する各装置・部品の構造・機能、及び、それらの装置の作動について講義する。	1 2 後前	48	○				○	○			

(工業専門課程 二級自動車整備科二輪自動車整備士コース) 令和元年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			シャシ整備	シャシ各部の構造・作動を再確認しながら、二輪車ならではの装置の解説を行う。	2前	24		○			○	○			
○			電装整備	二輪車電装品の点検・整備要領の理解	2通	60		○			○	○			
○			故障原因探求	故障探求を行う上で必要となる知識・技術、及びその方法について習得する。	2後	36		○			○	○			
○			総合整備	二輪自動車用エンジンを構成する各装置・部品の構造・機能、及びそれらの装置の作動について講義する。	2後	48		○			○	○			
○			機器の構造・取扱い	基礎自動車整備作業の習得。自動車整備に使用する工具、測定機器等の種類、取り扱い方法、注意点の把握。	1前	24		○			○	○			
○			自動車検査・機器	自動車整備士の実務である定期点検及び整備事業関連法令の重要性やモラルの理解について講義する。	2後	24		○			○	○			
○			自動車法規・検査	自動車整備士に必要な道路運送車両法の定義、自動車の定義、保安基準について講義する。	2前	24		○			○	○			
○			手仕上げ工作 機械工作	基本的な測定機器、工作具等の正しい使用方法を習得する。	1前	64.6					○	○	○		
○			基本計測	基本的な測定機器、工具等の正しい使用方法を習得する。	1前							○	○	○	
○			自動車整備作業	エンジン、シャシ、電装、電子制御等、各々の部品名称等の基礎知識から構造、故障原因の探求まで実習を通じて技術を習得する。	1通	1098.2					○	○	○	○	
○			自動車検査	自動車検査用機械機器の構造、取り扱い、保守管理方法について実習する。	2後	53.2					○	○	○	○	
合計					25 科目	1902.4 単位時間(		単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
当該科目のすべての授業に出席し、学期末の評点が60点以上であること	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	13週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。